

桜のある水辺風景2016 応募写真集



JRRN
Japan River Restoration Network

日本河川・流域再生ネットワーク



はじめに

今年も素晴らしい写真をありがとうございました。

さくらは全国どこでも楽しめる季節の変化を知らせてくれる大切な存在です。今はカメラがあり誰でもさくらの情報を発信でき、共有できるようになりました。でも写真が発明される前までは「絵」が大切な情報共有手段でした。中でも浮世絵は庶民誰でもが手に入れることができる広報手段だったのです。

歌川広重「桜につなぎ猿」猿回しのサルが木の台につながれて大変怖い顔をしています。その脇に満開のさくらが花びらを散らし始めています。「京都名所之内 あらし山満花」嵐山に満開のさくらが咲き桂川にはいかだを操る船頭が二人、いかだの上では煮炊きの火から煙が立ち昇っています。

喜多川歌麿画「『普賢像』挿絵 御殿山」吉宗が作ったさくらの名所御殿山に遊ぶ人々が描かれています。

歌川豊国画「京鹿子娘道成寺」歌舞伎で有名な舞台に桜満開の娘道成寺。この絵、出ている役者の顔ぶれが凄い。三津五郎の花子に團十郎と菊五郎の所化です。

葛飾北斎「鶯に垂桜（うそにしだれざくら）」「東都勝景一覽」

歌川芳幾「隅田川の夜桜」歌川国芳「浅草寺奥山群衆の図」歌川豊国「江戸花二人助六」

こうやって浮世絵に描かれたさくらを見ると、江戸「新吉原」のさくらが描かれた浮世絵がたくさんあります。当時吉原のさくらは大変有名で江戸のさくらの名所にもなっていました。描かれているのは吉原の真ん中を通っていた「仲之町通り」の桜並木です。日本堤から曲がりくねった50間通りを抜けると天下御免の吉原大門がありここからが新吉原遊郭です。この中心の通りが仲之町通りで、現在も台東区にそのまま仲之町通りとして残っています。しかし今ここには桜並木はありません。

「歌川国貞(三代豊国)」：『北廓月の夜桜』の絵は、北廓（吉原）の大門から見た夜桜と、夜空の満月を描いた作品です。仲之町に植えられた満開の桜を中央に大きく配し、その周りに黄色い山吹の植え込みを描いています。中央の桜の両サイドに、二階建ての茶屋の軒が連なっていて、往事の様子を彷彿とします。画面中央の満開の桜の左上に満月が描かれていて、夜も新吉原がにぎわっていたことがわかります。しかし吉原に桜並木があったのでしょうか。

実はこの新吉原仲之町通りには季節ごとにさまざまなしつらえが施され、多くの客を集めていました。さくら並木があったわけではなく、仲之町通りに旧暦三月から一ヶ月間だけ見ることの出来るように、実はその間にだけ植え込んだものだったのです。しかしさくらは大変移植の難しい木で、すぐに枯れてしまいます。そのさくらを毎年三月一日に一晩のうちに植えて江戸っ子を驚かしたのだそうです。下草に山吹を添え、青竹の竹垣をめぐるし、中に雪洞を立てました。

江戸の人にとっては春の一大イベントで、大賑わいでした。『江戸名所花暦』によると葉桜になっても見物客は絶えず、3月が終わると撤去され翌年また植えられました。現代の植木職人の方に伺ったところさくらの根は大変細かく水の吸い上げができなくなると枯れてしまうそうで、移植直前に掘った物ではなくあらかじめ根回しをしておいたものを植えたのだらうということでした。そのために江戸の植木職人は技術を磨き、注文に応じられるように準備していたそうです。当時の技術水準の高さがわかります。

さくらの季節以外でも仲之町通りには、四季折々のいろいろな花や木を植え替えてイベントが行われました。桜のほかには有名なのは花菖蒲で、これは旧暦の五月、六月に、小川を掘って橋をかけて、水路として水を流し、川のほとりに植えました。七月のお盆の頃には灯籠を並べます。盆灯籠ではなく、この時期に死んだ玉菊（たまぎく）という美しい遊女を偲ぶもので、玉菊灯籠と呼ばれます。

八月は「俄狂言（にわかきょうげん）」を出します。可動式の舞台をつくりその上で芝居をします。「俄」というのはもともと「即興」「アドリブ」みたいな意味ですが、お座敷での座興のちょっとしたお芝居のことをいうようになり、素人の芸達者が仮の舞台でお芝居の真似をするようなものを、総称して「にわか」と言います。

歌舞伎の『助六由縁江戸桜』や『籠釣瓶花街酔醒』などに登場する吉原の桜は、そういうさくらだったのです。

土屋 信行

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 代表理事

企画趣旨

JRRN では、水辺の美しさや人々との関わりについて考えるきっかけづくりを目指して、2016年に撮影された桜のある水辺風景の写真を皆様より、下記の通り募集し、20名の方々より52点の素敵なお写真をご応募頂きました。

本冊子では、ご応募頂いた皆様の写真を、投稿コメントと共に順不同で掲載しております。また、今年から Facebook での応募も開始しており、Facebook ページでも全ての写真を閲覧することが可能です。

- テーマ：「桜のある水辺風景 2016」 ※2016年に撮影された写真に限定
- 応募資格：どなたでも。
- 作品規定：本人が撮影したデジタル写真（3MB以内/枚）のみとし、一人5点まで可能。個人が特定できる人物画像が含まれる場合は被写体の方の了承を得ること。
- 応募方法：題名、撮影場所、撮影年月、メッセージ（作品への思い）、氏名、Eメールアドレス記入の上、応募先へEメールで送付。もしくはFacebookページへの投稿。
- 応募期間：2016年3月23日（水）～2016年5月18日（水）
- 応募作品の取扱いについて：
 - ・Facebook ページ及び「桜のある水辺風景2016 応募写真集」の中で紹介。
 - ・応募作品を紹介する際には氏名も掲載。匿名希望も可能。
 - ・同一地点での類似した風景等の作品は事務局により写真集掲載作品を選ばせて頂く場合がある。
 - ・応募内容が本企画趣旨に沿わないと判断した場合は紹介を控える場合がある。
 - ・JRRN の刊行物やウェブサイト等で使用することがある。
 - ・応募作品は返却しない。



南伊豆・青野川からの眺め。空と川の澄んだ青色に河津桜の深いピンク。冬が一気に遠のいた気分です。

<中井信彦：3/28 投稿>



【宇治川の水辺と桜—その1】

地元チームのドラゴンボート練習を眺めていたら平等院から千年続く伝統芸能「宇治田楽」の一団が出てきたので、とりあえず獅子に頭を噛んでもらいました(^o^)

<前川勝人：4/11 投稿>



【宇治川の水辺と桜—その2】

宇治川らしい風景\(^o^)/撮った中でのベストです

<前川勝人：4/11 投稿>



【奈良の桃源郷】

柿の里でもある五條市西吉野地域には、黄色のサンシュユという花と、浅いピンクの啓翁桜が咲き乱れています！今年、友人に案内していただき、初めて訪問 (*^_^*) 春の花が、咲き乱れ、まさに「桃源郷」でした(^_-)☆
 <撮影：中川智子 2016年4月@奈良県五條市西吉野・丹生川>



【奈良、吉野川の桜】

吉野山は桜の名所で有名です。少し離れますが、吉野川沿いの河川敷、その名も「桜橋」周辺は桜がとても綺麗です！晴天の朝！桜の花も輝いていました！
 <撮影：中川智子 2016年4月@奈良県吉野郡吉野町飯貝・吉野川>



【奈良、下北山村の桜】

奈良県で一番早く咲くと言われる下北山村の桜。今年も、曇り空の桜祭りになりましたが、水面に映る桜はとても綺麗でした！
<撮影：中川智子 2016年4月@奈良県吉野郡下北山村>



【大阪城公園】

海外からの旅行者にも大人気の大阪城公園。夕暮れ時の一景です。桜は、艶やかです (*^_^*)

<撮影：中川智子 2016年4月@大阪市>



【暮れなずむ大阪城公園の桜】

次第に暮れゆく空のもと、ライトアップされる大阪城公園。 <撮影：中川智子 2016年4月@大阪市>



【鳳凰湖の上流域】

ここの子供達は、大石川の水辺でよく遊び&学びます。将来が楽しみです(^_^)

<撮影：前川勝人 2016年4月@滋賀県大津市>



釣り日和の午後、桜の下で憩いのひと時。

<撮影：加藤晴敏 2016年4月@静岡県富士宮市猪之頭・田貫湖>

**【サクラによるカワウ対策】**

近年、絶滅に瀕していたカワウの個体数が急増し、全国からカワウによるアユの食害が報告されていて、特に遡上中の稚アユに対する被害は甚大なようです。

本河川でのアユの遡上初期は花見のシーズンと被っており、開花すると川岸には多数の人が集まってきます。花を見るために人が川に集まってくることで、意図せずカワウ対策になっていて面白いと思い投稿させて頂きました。

<撮影：辻雄介 2016年4月@山口県岩国市・小瀬川>



【この景色またいつか】

引地川の千本桜は、延長約1.3kmの桜並木、県内でも桜の名所として知られ、また、地元にも愛されている。近年のゲリラ豪雨などの際に氾濫危険水位を超えることもあり、2016年度より河道拡幅工事のために伐採されることに。桜を保全する市民の訴えにより、改修後には新たな桜の植樹も行われるそうである。ひとまず、この風景が眺められるのは今年が最後となった。

＜撮影：高橋達也 2016年4月@神奈川県大和市・引地川＞

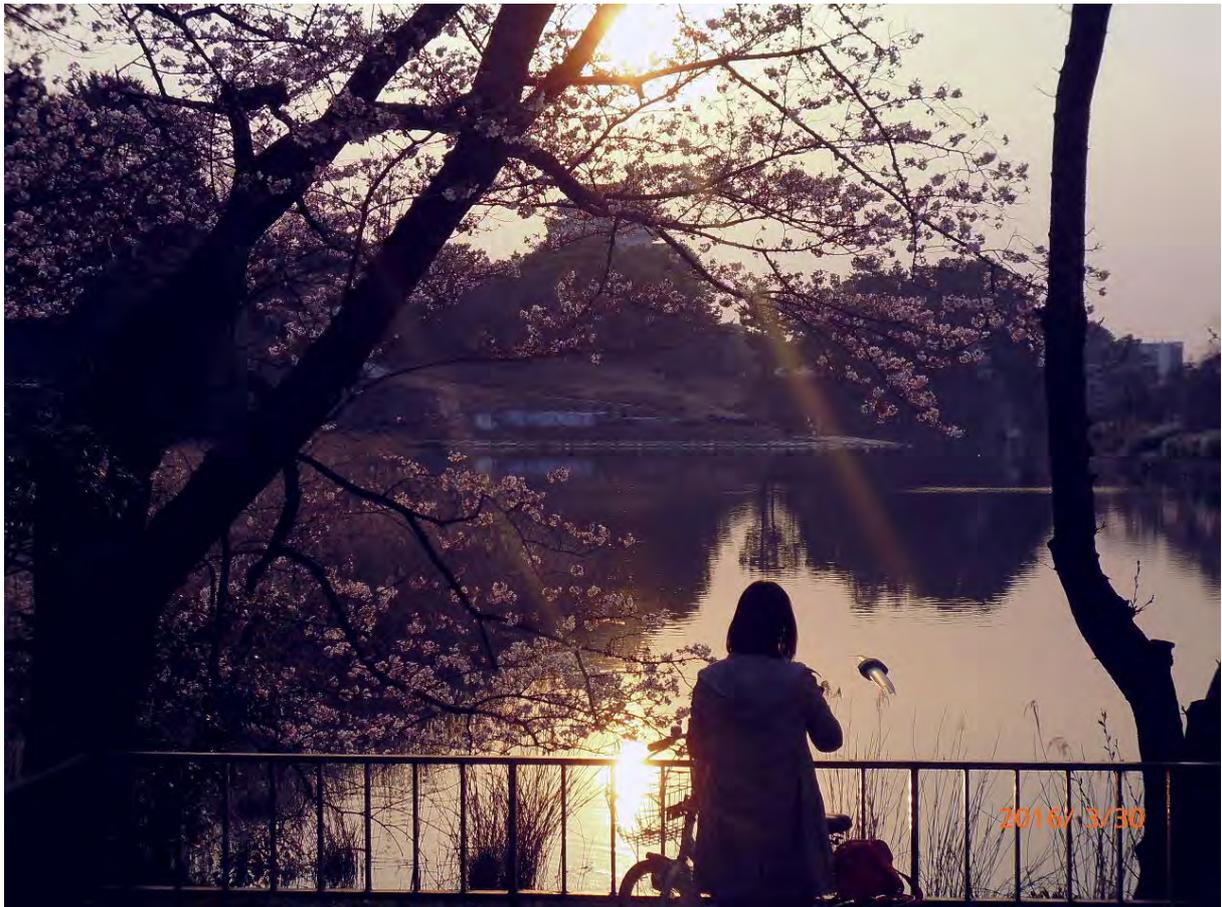


【鴻沼川（巽橋より下流を望む）】

ソメイヨシノの淡い桜色と、菜の花の黄色、そして枝垂れ柳のやわらかい新緑。淡い色あいのなかを、桜の花びらを浮かべて、静かに鴻沼川が流れて行きます。

かつて鴻沼川は大雨のたびに氾濫したそうで、実際この近く住んでいた二十数年前、借りていた駐車場が水没。愛車が…、という思い出も。その後、河道が掘り下げられて治水安全度は高まりましたが、水辺には近づきにくくなりました。この写真の右岸側には、遊水機能を備えた公園の整備が計画されていますので、地域住民としては、憩いの水辺の復活に期待しています。

<撮影：上原励 2016年4月@埼玉県さいたま市・鴻沼川>



【名古屋城お堀と桜】

3月末に名城公園から見た内堀に咲く桜です。

まだ咲き始めの桜でしたが、夕刻の名古屋城、桜、人の風景が桜の美しさ明るさと一味違ってなんとなく寂しげで印象的でした。

< 撮影：佐合純造 2016年3月@愛知県名古屋市・名古屋城内堀周辺 >



【清洲城と五条川と桜】

日曜日の午後、ふらり1人で清須市五条川での花見にでかけました。五条川のほとりに咲く桜は清洲城とともに新幹線を見送っています。清洲城はご存じのように信長をはじめ天下に名をはせた武将の居城でした。今日だけは尾張の中心地だった当時の栄華を再現しているようです。

<撮影：佐合純造 2016年4月@愛知県清須市・五条川>



【山里の春】

養老山地から流れ出ている津屋川の春です。湧水があり、ハリヨの姿も見られます。秋には彼岸花が土手を彩ります。

＜撮影：滝宏志 2016年4月@岐阜県海津市・木曾川水系津屋川＞



【雪解けの春】

中央アルプスの最南端の恵那山の東斜面から流れ出ている本谷川の春景色です。右岸側は満開のサクラが彩り。左岸側は開花直前のハナモモの蕾が水辺に彩りを添えていました。

＜撮影：滝宏志 2016年4月@長野県阿智村・天竜川水系本谷川＞



【堀川花盛り】

1610年、名古屋城築城時に徳川家康の命で開削された堀川です。国際会議場や白鳥公園をつなぐ遊歩道と桜並木が水辺に整備され、市民の憩いの場になっています。<撮影：滝宏志 2016年3月@愛知県名古屋市・庄内川水系堀川>



【丸子川の川面に写る桜並木】

桜並木が川面に写っているところを意識して撮影しました。

<撮影：渡部秀之 2016年4月@東京都大田区・多摩川支川丸子川>



【多摩川スーパー堤防上の桜並木（21世紀桜）】

多摩川スーパー堤防上に植えられ、地元で「21世紀桜」と命名された桜並木を、東急多摩川線下丸子駅から歩いて行って撮影しました。背景に高層マンション群を入れた全景や並木も撮影しましたが、多摩川の距離標を入れて、小雨に濡れた桜花が写ったところが、雰囲気として気に入りました。

＜撮影：渡部秀之 2016年4月@東京都大田区・多摩川左岸＞



【思川桜—新しい水辺と街のシンボルに育つことを願って】

10年程前、この地に新しい水辺と街を建設することに少しだけ関わり、今春、私鉄電車中の吊り広告で現地の紹介があり、懐かしく訪問しました。また、栃木県小山市を流れる思川にも仕事上の思い出もあり、不思議な縁を感じました。

<撮影：渡部秀之 2016年4月@埼玉県越谷市・大相模調節池（越谷レイクタウン）>



【中目黒駅ホーム上から見た目黒川の桜】

東急東横線中目黒駅のホーム上から、駅員さんの安全監視の視線を受けながら、撮影しました。

<撮影：渡部秀之 2016年4月@東京都目黒区・目黒川>



【目黒川の川面を飾る桜花】

中目黒駅から人混みを縫って、上流にある橋にたどり着き上流方向を撮影しました。

<撮影：渡部秀之 2016年4月@東京都目黒区・目黒川>





【巨瀬川上流（流川）と花見】

ヒナモロコってご存知ですか？

福岡平野・筑後平野・佐賀平野の一部で生きていました。もしかすると、おじいちゃんが小さい頃、ハヤの甘露煮に混じっていたかもしれません。今はもう昔いたところでは野生絶滅しています。小型の淡水魚の中では、ハヤやメダカ程ポピュラーでなく、ホンモロコ程高級感がなく、タナゴ類（ニッポンバラタナゴ・カゼトゲタナゴ・セボシタビラ・カネヒラ等）程見た目が良いわけではありません。地味です。しかし、じっと見ていると滅びゆく哀愁が漂います。水路改修に代表される環境変化に耐えられなかったのでしょうか。河川工事の際に、彼らの生息環境を考慮してほしい。特に、上記のタナゴ類については、二枚貝に卵を産み付け20日程（アブラボテの場合）して10mm程度の稚魚が二枚貝から浮上してきます。つまり、二枚貝やその周辺の環境ごと保護することを実行しないといずれタナゴ類も野生絶滅するのが目に見えています。確証は全くありませんが、工事の際小さな魚は無視され二枚貝は石と思われているのではないかと思います。とりあえず明日からでも、小規模工事であっても事前に環境調査をするルールを作っていただきたい。その経費は将来に向けての大事な投資です。誰もクレームをつけない経費です。

写真は3月ヒナモロコ里親会定例会の後に都合がつく人だけ、恒例の花見をしました。雨と強風の中で寒かったが、楽しいひと時でした。

＜撮影：別府正俊 2016年3月@福岡県うきは市・筑後川水系巨瀬川＞



**【野川 一夜限りの夜桜】**

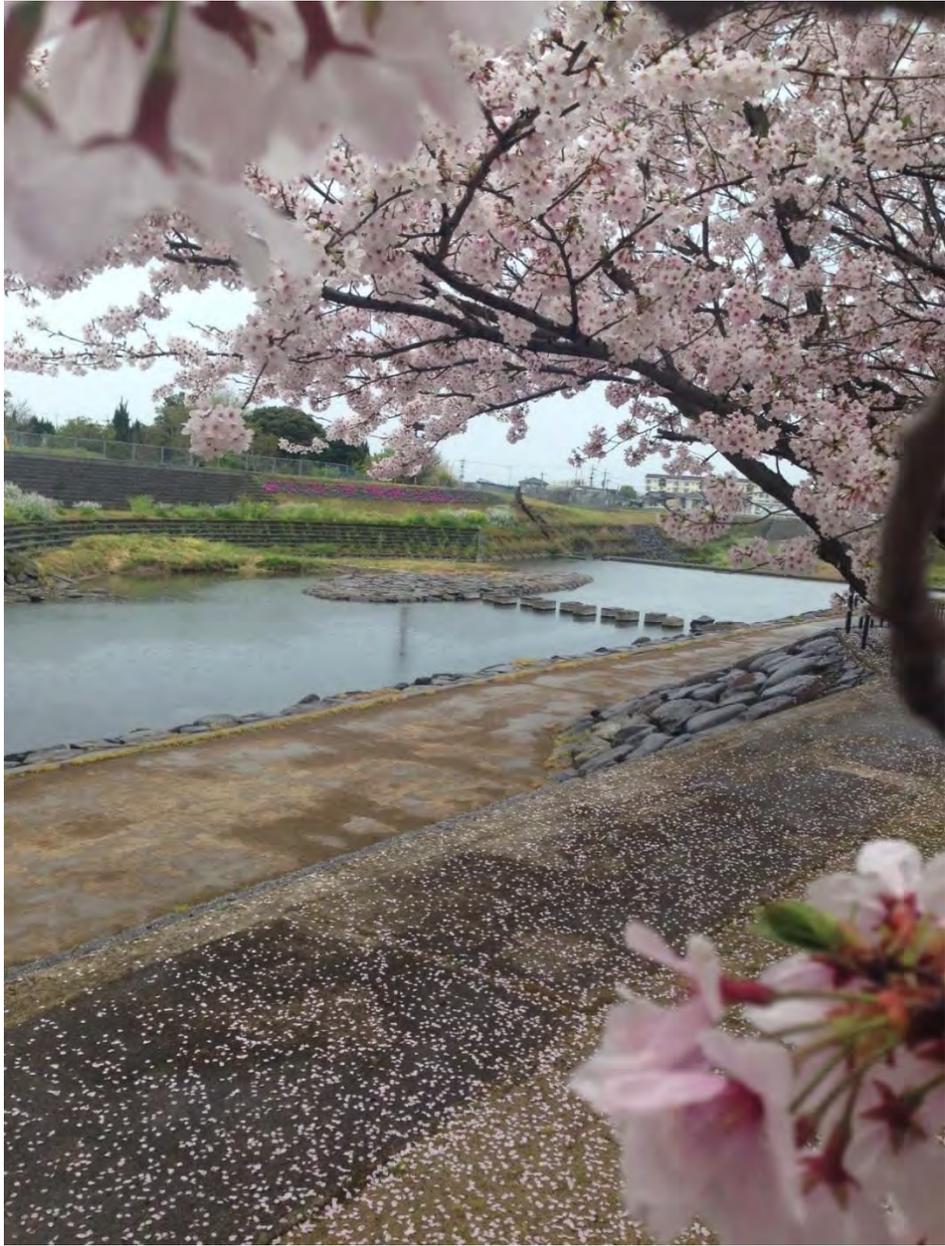
野川沿いの桜並木がライトアップされる一夜限りのイベントに行きました。

ライトアップは照明会社の無償協力により行われ、地域住民がボランティアで支えているそうです。

開催日は直前にしか発表されないにもかかわらず、2万人以上の人々が露店もない野川沿いの散策路（約850m）に集まり、ただ桜を見て歩き、写真を撮りながら進みます。

その日限りの川面に映る夜桜見物は、贅沢な空間・時間です。

<撮影：高橋裕美 2016年4月@東京都調布市佐須町・多摩川水系野川>



**【地域と作っていく】**

例年3月の終わりから4月の頭にかけてここ彼杵川のかっぱ公園付近では、菜の花や桜などが一気に開花し、春の訪れを感じさせてくれます。

菜の花や桜のほかに、最近では沿線地区の自治会の皆さんと植えた芝桜も仲間入りし、かっぱ公園周辺は以前に比べより一層鮮やかになりました。これからどんどん暑くなっていき、夏には地元の小学生がずぶ濡れになってはしゃぐ声が脇の道路にいても聞こえてくることでしょう。

実はこういう活気のある状態になったのはここ数年の話です。前から管理等はやっておられましたが、近年になって活発化してきた地元住民の方と行政等との活動によって、ただ隣を流れていただけで四季の移ろいが味気なかった川の風景は、賑やかな色となって変わってきています。

彼杵川はそれほど大きな川ではなく、特に何かが有名なわけでもないですが、これからも地元住民の方の生活に寄り添いながらここに在り続けます。地域と作っていく水辺の風景が、ここにあります。

<撮影：高坂順喜 2016年3月@長崎県東彼杵郡東彼杵町・彼杵川 かっぱ公園>





【目黒川は夜も華やかです】

毎年桜の時期には目黒川沿いを散策しますが、今年は初めて夜の花見を楽しみました。この賑わいが一年中続くような魅力ある川になりますように。

< 撮影：和田彰 2016年4月@東京都品川区・目黒川 >



【20年の時を刻む和泉川「地蔵原の水辺」】

約20年前（1994年）に完成した「地蔵原の水辺」は、『水辺で遊ぶ、水辺で憩う。川がもつ楽しさをもっと身近に感じてほしい。子供たちの歓声が聞こえる川、自然の息吹を感じる川、まちの魅力の一つになる川。』をコンセプトに造られたそうです。あいにくの曇り空でしたが、地元の皆さんが水辺の花見を楽しんでいました。

＜撮影：和田彰 2016年4月@神奈川県横浜市泉区・和泉川＞



【小江戸川の春】

川の上から見下ろす桜と、川の中から見上げる桜とではどちらが綺麗なのかな？

<撮影：匿名希望 2016年4月@埼玉県川越市・新河岸川>





全長 10.5 キロメートルに及ぶ道路沿いの桜並木は、偶然にも桜が満開で、迫力がありました。多くの人が足を止め、観賞や写真撮影などを楽しんでました。

<撮影：元 JRRN 事務局員 2016 年 5 月@北海道札幌市・琴似川>



川沿いの桜がきれいでしたが、桜よりも多く植えてある梅もきれいで、同時に楽しめました。

<撮影：元 JRRN 事務局員 2016 年 5 月 @北海道札幌市・琴似発寒川>

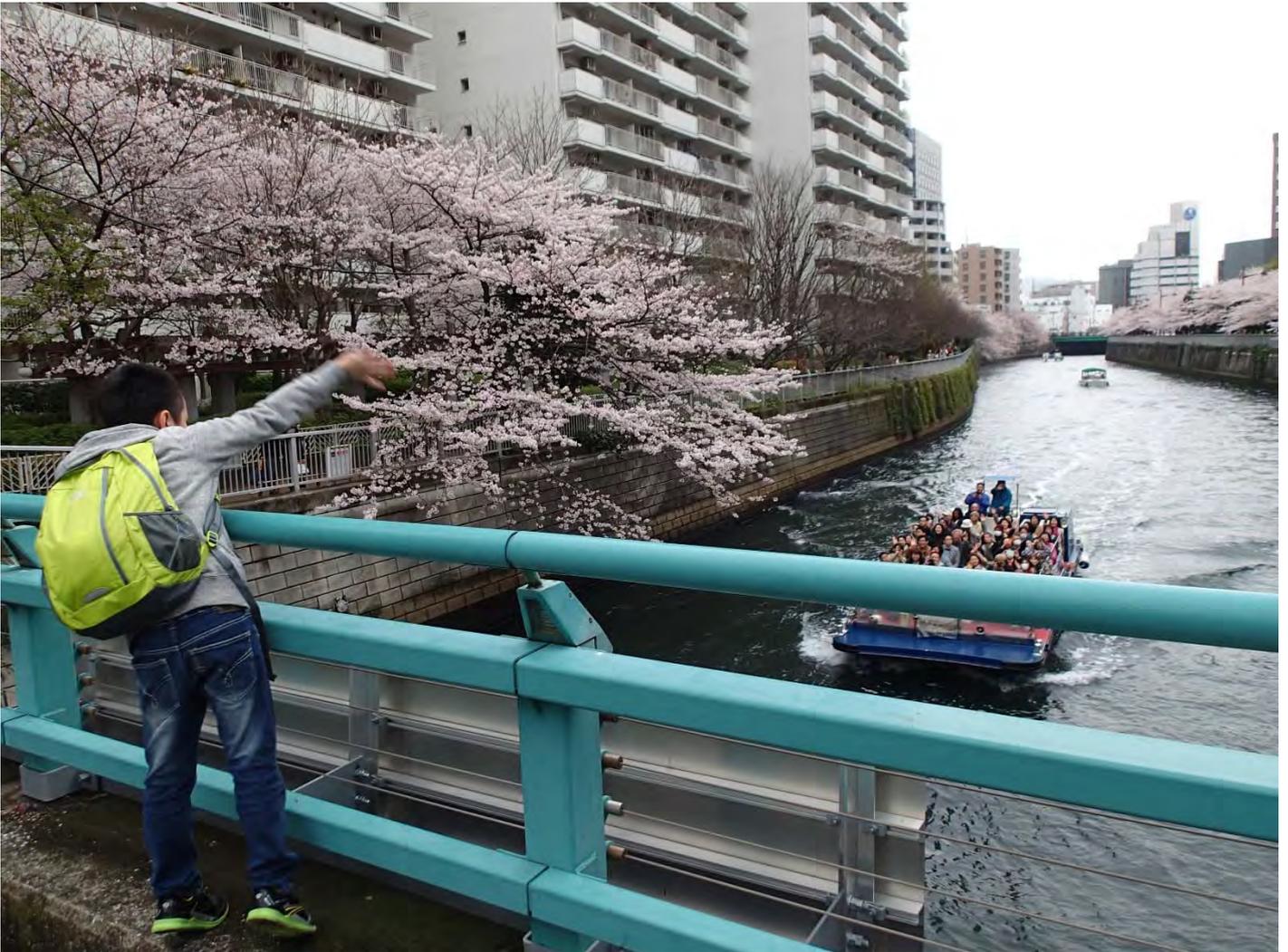


【人と花、船】

春のうららの隅田川は、昔も今も花が咲き、人と船が行き交ってます。

<撮影：阿部充 2016年4月@東京都中央区・隅田川>

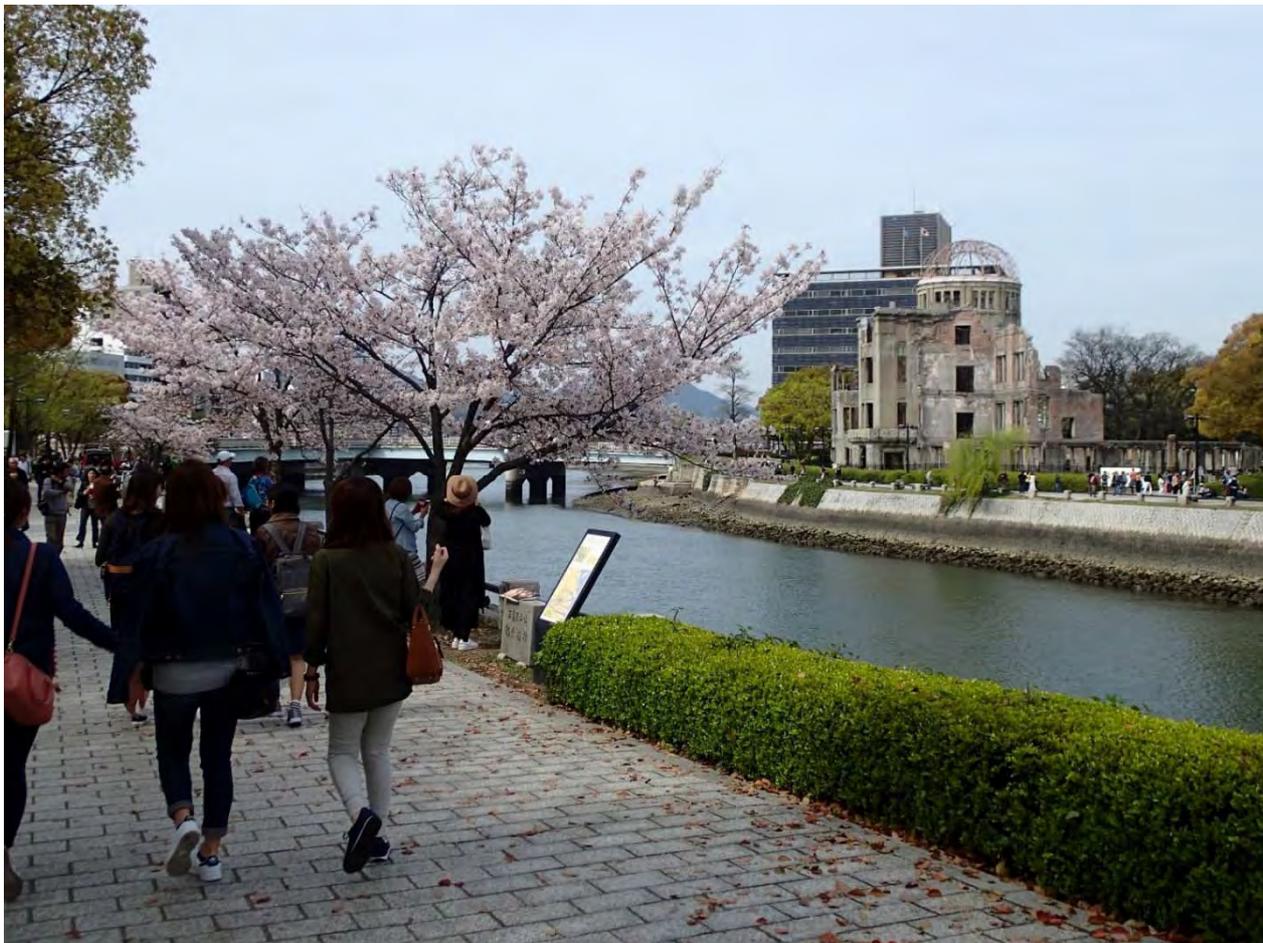




【誰でも手を振りたくなりますねー】

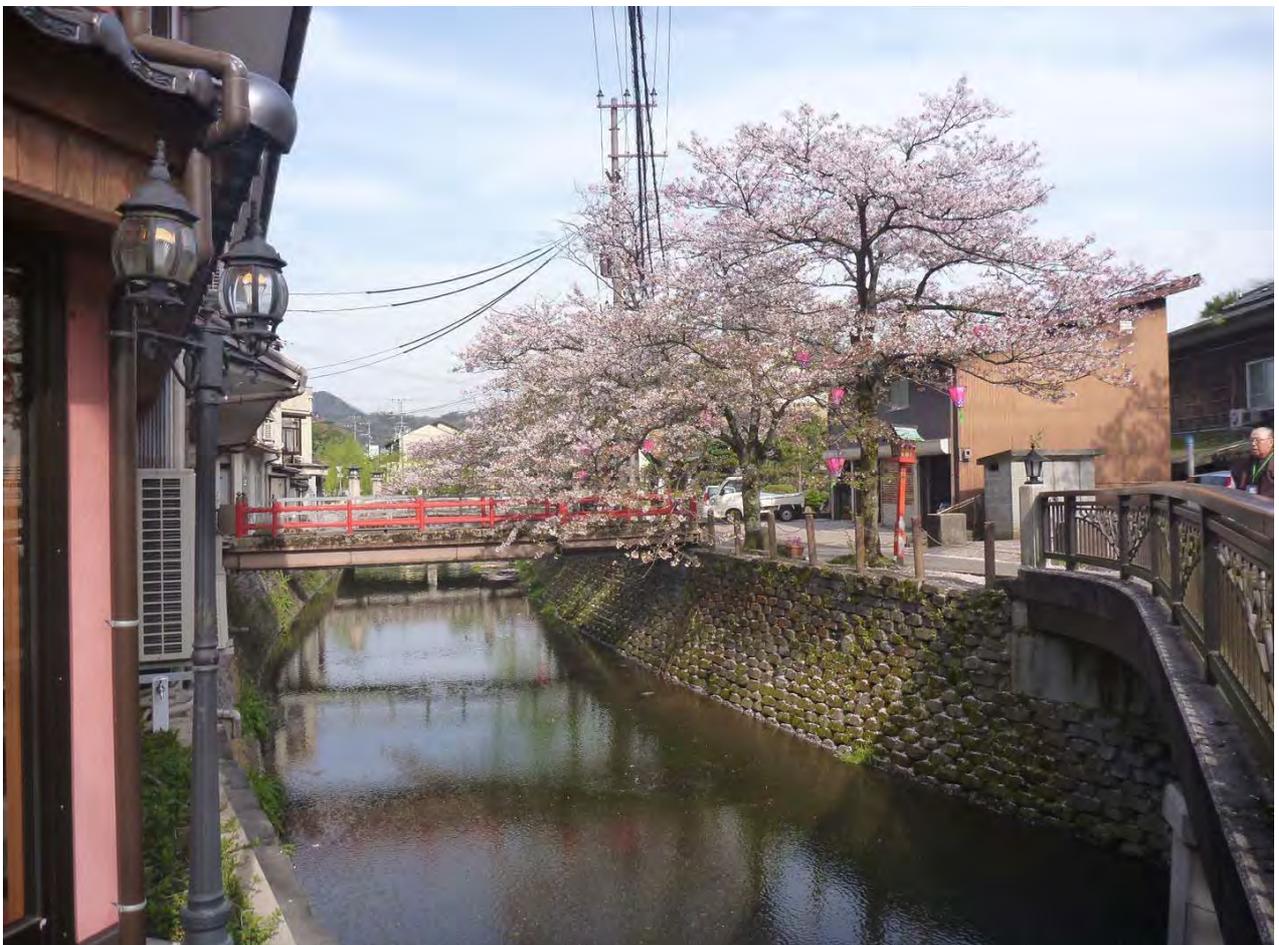
水辺のさくらは素晴らしい！それぞれの人生を思い起こさせてくれるのですね。

<撮影：匿名 2016年4月@東京都品川区・目黒川>



【原爆の地に毎年咲くさくら】
皆たくましく生きている。

<撮影：匿名 2016年4月@広島県広島・元安川>



【玄武岩の護岸と桜】

< 撮影：都築隆禎 2016年4月@兵庫県・円山川水系大谿川 >



阪急河原町駅付近で撮影しました。河原町を流れる川と、桜並木が映っています。

<三宅凜太郎：4/25 投稿>

Facebook
からもご応募
可能になりました！



桜のある水辺風景 2016

～写真とメッセージを大募集～

今年も桜の美しい季節を迎えました。皆様より 2016 年に撮影された「桜のある水辺写真」を募集し、facebook や写真集を通じてご紹介させていただきます。水辺が創出する美しい景観の未来への継承を目的に、沖縄から北海道まで、日本の水辺の魅力を再発見できるような素敵な桜の水辺写真とあなたからのメッセージをお待ちしております。



福岡県・草場川（筑後川水系）



福岡県・野鳥川



大阪府・山中川



奈良県・下北山村

応募方法の詳細はこちらをご覧ください

<http://jp.a-rr.net/jp/news/info/678.html>

募集期間

5月18日（水）まで

「桜のある水辺風景 2016」Facebook ページはこちら

<https://www.facebook.com/桜のある水辺風景-1661015380827163/>

主催／日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)

JRRN
Japan River Restoration Network

紹介写真：「桜のある水辺風景写真 2015」優秀作品 <http://jp.a-rr.net/jp/news/info/592.html>

桜のある水辺風景 2016 応募要項

応募締切： 2016年5月18日(水)

※Facebookでの応募(投稿)方法は <http://jp.a-rr.net/jp/news/info/684.html> をご覧ください。

- テーマ： 「桜のある水辺風景 2016」 ※2016年に撮影された写真に限定させていただきます
- 応募資格： どなたでもご応募いただけます。
- 作品規定： ご本人が撮影したデジタル写真(3MB以内/枚)のみの投稿とさせていただきます、応募は一人5点まで可能です。なお、個人が特定できる人物画像が含まれる場合は被写体の方の了承を得てください。
- 応募方法： 下記の「応募シート」に、**題名、撮影場所、撮影年月、メッセージ(作品への思い)、氏名、Eメールアドレス**をご記入の上、写真と共に以下応募先へEメールで送付下さい。
 ※Eメールで複数画像を送付する場合、合計サイズが約3MB以下となるよう複数回に分けて送付願います。
- 応募期間： **2016年3月23日(水) ~ 2016年5月18日(水)**
- 応募作品の取扱いについて：
 - ・ Facebook ページ及び「桜のある水辺風景 2016 応募写真集」の中でご紹介させていただきます。
 - ・ 応募作品を紹介する際には氏名も掲載させていただきます。匿名での紹介を希望される方は、応募シート内「⑦その他」の欄にその旨をご記載下さい。
 - ・ 同一地点での類似した風景等の作品は事務局により写真集掲載作品を選ばせて頂く場合があります。
 - ・ 応募内容が本企画趣旨に沿わないと判断した場合は紹介を控えさせていただきます。
 - ・ JRRN の刊行物やウェブサイト等で使用させていただきます。
 - ・ 応募作品は返却致しませんのでご了承ください。
- 応募先(問合せ)： 〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 (公財)リバーフロント研究所内
日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局 担当：阿部・和田 (Eメール：info@a-rr.net)

桜のある水辺風景 2016 応募シート

応募締切： 2016年5月18日(水)

①題名	
②撮影場所 ※河川・水辺名、地名(都道府県、市町村)	
③撮影年月	2016年 月
④メッセージ(写真への思い等) ※Facebookや写真集に掲載させていただきます	
⑤氏名	
⑥Eメールアドレス	
⑦その他 ※写真集掲載や利用時の注意点等	

※個人情報の取扱いについて： 作品使用に関するお問い合わせ時に利用させていただきますが、他の目的での利用はございません。

※「応募シート」ダウンロード：<http://www.a-rr.net/jp/info/letter/docs/Photo2016form.doc>

○応募作品のお取扱いについて：

今後、ご応募頂きました写真を、JRRN が発行する「手引き」等の冊子や JRRN ウェブサイト等で使用する場合は、使用目的や掲載媒体について予め応募者にご連絡をさせて頂き、撮影者了承の上で使用させていただきます。

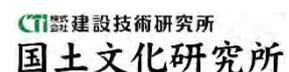
日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)

「日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）」は、良好な河川の保全・再生が創り出す健全な水循環系及び歴史・文化と共存する地域社会の実現に向け、河川再生について共に考え次の行動へと後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に活動しています。また、「アジア河川・流域再生ネットワーク（ARRN）」の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、同時に海外の素晴らしい取組みを日本国内に還元する役割を担います。

桜のある水辺風景 2016 応募写真集

発行日	2016年6月
発行	日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）
事務局（連絡先）	〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 新川中央ビル7階 公益財団法人リバーフロント研究所内 Tel: 03-6228-3862 Fax: 03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net , URL: http://www.a-rr.net/jp/ Facebook: https://www.facebook.com/JapanRRN

JRRN 事務局は、「アジアにおける河川再生のためのネットワーク構築と活用に関する研究」の一環として、公益財団法人リバーフロント研究所と株式会社建設技術研究所国土文化研究所が公益を目的に運営を担っています。



桜のある水辺風景

2016



日本河川・流域再生ネットワーク